

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	海外誘客促進事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	産業経済部	課等名	観光課		包含する細々目	1	7	1	4	15	1	1,500
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり											
施策	13 地域内産業の多様な連携											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	地域経済活性化プログラム						
		事業期間	16	年度～	年度	関連計画条例等						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	海外からの観光客 海外誘客に関する観光事業者	海外(台湾・韓国)からの観光入込人数:人	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了した年度とする		
			3000	4000			
	海外からの観光客を増加させることで、直接的な外貨獲得をする。	海外誘客に関する観光事業者等:人	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	最終目標達成年度		
			32	40			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
海外からの観光客を増加させることで、直接的な外貨獲得をする。	受入れ研修会の開催回数:回	18目標	6	最終目標	10	最終目標達成年度	
		18実績		19目標			↑
	受入れ体制が整った観光施設数	23目標		23実績			最終目標達成年度
		18目標	10	最終目標	15	最終目標達成年度	
	18実績		19目標		↑		
	23目標		23実績				

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	誘客宣伝活動と受け入れ態勢の整備 情報収集及び提供 受け入れ関係機関との連携及び受入施設・観光資源の開発	・インバウンド誘致戦略会議の開催 ・「南信州」認知のための海外観光宣伝の実施(台湾・韓国)、 地場産品のアウトバウンド(台湾チャレンジ)と協調した誘客宣伝 ・宿泊ホテル等に対する啓蒙活動	提携した台湾旅行者数・社 市内の受入業者数・社 (人)	2 5
	18年度の実績			
	19年度計画	・インバウンド誘致戦略会議の開催 ・観光客お出迎え研修 ・海外観光宣伝の実施(東アジア・韓国等-) ・宿泊ホテル等に対する啓蒙活動 ・南信州国際観光交流推進協議会の自立した組織づくり(平成20年度以降) ・地元バス会社と提携した海外輸送システムの構築	提携した台湾旅行者数・人 市内の受入業者数・人	

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	1,500	1,300
事業費計(A)	1,500	1,300	
人件費	正規職員所要時間	18年度 100	19年度 100
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	358	358
	トータルコストA+B	1,858	1,658

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	新たな経済活動を創出する	海外誘客事業によって発生したツアー数	現状値	100	19実績	105
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	130
			現状値	47	19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
21世紀はアジア及び世界のグローバル化を背景とした大交流時代である。東アジア地域の経済的な離陸による所得の増大は、海外旅行の大きな動機となっている。当市においては、これまで海外から誘客は夢想だにしてこなかったが、中部新国際空港の開港や愛知万博の開催などを契機として、海外観光客の増加による経済効果の獲得を意図している。	南信州国際観光交流推進協議会(H17.8.25設立)と業務手配を行う(株)南信州観光公社が実質的業務を行うまでにシステムが構築できてきた。台湾エージョンとの提携強化によって誘客数も顕著となっている。平成20年度以降は、当協議会から自立した運営ができるようにしたいとの声がある。	果たしてこの地域に海外からの観光客が訪れるか否か疑問を感じている人々も多い。しかし、当地域は一年を通じて果物が楽しめることから、台湾観光客からの評価が高いことを認識させられた。

【See】18年度の振り返り

目的妥当性評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由) 実績を積んできているインバウンド事業は、確実に成果を上げている。日本人観光客の隙間を埋め、確実に消費額を向上させることができる。	有効性評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由) より広範囲の地域から効率的に誘客するルートを開発することで、安価で成果を向上させることができる。団体旅行を主体としているが、個人観光客の誘客に結びつく余地がある。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由) 今後とも増勢の余地があるインバウンド事業が停滞する。
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 統合不可能 (類似事業名、理由) 類似事業は全く無い
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由) インバウンド事業については、先進的モデルである。また、台湾を含めた東アジア地域は人形劇等を通じた文化交流が根底にある場所であり、飯田市の関与は不可欠である。		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 不可能 (その理由) 観光公社関係の2名であり不可能
			公平性評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由) 観光事業者

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	インバウンド事業を効果的に進めるために、南信州観光公社を通じて台湾における新規旅行業者との提携に成功した。地域内での観光消費額を向上させる一層の努力が必要。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	受入宿泊先の整備と理解を求める。 バス手配において、地域内バス会社の利用率を上げる。

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	